

10 総合通信基盤局

電波部移動通信課
岡本 千世

QOL(クオリティ・オブ・ライフ)実践



PROFILE

Chise Okamoto

平成16年 4月	総務省採用
平成18年 8月	総合通信基盤局国際部国際政策課 総合通信基盤局電波部電波政策課 国際周波数政策室
平成20年 7月	情報流通行政局地域通信振興課
平成25年 4月	総合通信基盤局電波部移動通信課
平成26年 1月	現職

■ 仕事の内容

陸上移動無線局に関する許認可業務

限りある資源である電波を有効に活用するため、業務用無線局（例えばスポーツ競技やタクシーなどで使われます）の免許の申請に関して省内や外部の関係者と調整を行ったり、地方部局対応をするのが私の仕事です。電波は周波数ごとに法令で用途が厳密に定められており、免許の付与にあたっては他の無線局と混信が発生しないように慎重に検討しなければなりません。電波法は条文が複雑なので、間違いの無いよう同じ条文を繰り返し音読したり、読む人に誤解を与えないよう、公文書で使う言葉には細心の注意が必要だったり、頭を悩ませることも多いですが、分からないことは一人で抱え込まず、法律に習熟している先輩や上司に相談に乗っていただきながら仕事を進めています。報道で自分が携った業務用無線が使われているのを見た時は、自分のやっていることが役立っているという実感があります。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

子育てと仕事の両立

総務省では、女性が子どもを持ちながらライフスタイルを選ぶ事に対して理解・サポートが得られます。私は2人の子どもの母親ですが、それぞれ2年半、1年半の育児休業を取得しました。現在は、2度目の育児休暇から仕事に復帰して10ヶ月たちます。まだ子どもが5歳と2歳で幼く、保育園の迎えの時間があるので、2時間の育児時間を取得して働いています。行政文書の作成から、電波法や関連文書の解釈まで日々教わることばかりですが、育児による突然の早退等にも理解があり、また業務においては厳しくも丁寧に指導して下さる上司・同僚をはじめ、職場にはとても感謝しています。ドッグイヤーと言われるように技術革新の激しい情報通信分野にあって、子育てしつつスキルアップをし、かつ育児における大変な時期を乗り越えたら、より仕事を頑張りたいです。

■ PRIVATE TIME

趣味は手芸です。ビーズでアクセサリーを作ったり、子どもの手袋や帽子を編んだりします。休日は、娘と一緒に絵描きをしたり、息子が好きなので駅まで電車を見に行ったりと、子どもたちと一緒に過ごすことが多いですが、たまに夫に子どもを見てもらって（夫に感謝）、ピアノを弾いたり買い物に行くなど、自分一人の時間も大切にしています。



子供達と、公園にて

とある

一週間

■ MONDAY

課内のミーティング。業務状況を報告し、課長から今後の進め方などの指示を受けます。

■ TUESDAY

新たな申請や問合せがあるか、メールを確認。内容により上司とも相談して回答します。

■ WEDNESDAY

事業者のところに向いて打合せ。ビジネスに直結するため緊張します。

■ THURSDAY

新たな無線局の免許申請が、迅速な処理が必要な場合、書類作成・決裁でばたばたします。

■ FRIDAY

保育園の発表会のためいつもより早めに退庁。子供たちの成長が感慨深いです。